

8月18日(木)、8月22日(月)に特別支援教育セミナーが開催されました。新型コロナウイルス感染症のまん延状況が落ち着かないこともあり、TeamsやZoomによるオンライン開催となりました。小学校、特別支援学校から多くの先生方にご参加いただきありがとうございました。

本年度は、テーマの異なる2種類の研修会を実施しました。研修AではGIGAスクール構想の実現により急速に導入が進められているICT教育について、特別支援教育におけるICT活用の本質的な考え方や留意点、実践例などについて杉浦徹先生よりお話をいただきました。また研修Bでは、障害がある子どもの発達や自立活動を客観的に評価するために役立つ「学習到達度チェックリスト」の活用等について徳永豊先生よりお話をいただきました。

今回セミナーに参加することができなかった先生方で、特別支援学級を初めて担当される先生方や、教材作成についてお悩みがある先生方は、今回の資料等をもとに相談に応じることもできますので、ぜひお声掛けください。

令和4年度 特別支援教育セミナー【研修A】

「人とのやり取りの中で活用するICTの考え方と実践について」

講師 東北福祉大学 杉浦徹 先生

【講義より】

- * 支援で大切にしたいことは、「できたことではなく、できてうれしい気持ちを育てる」こと。
- * 環境に働きかけることで、「周囲が変わる→自分が変わる→コミュニケーションが生まれる」。そのためのツールとして活用してほしい。
- * 支援機器に高低はない。本人が使える機器が最高の機器。



手作り教材の紹介もありました

<参加者の声>

○簡単に物理的変化を起こせるようなスイッチやアプリケーション類があふれる中、子どもの行動の評価を客観的に行うことが難しい指導が多々見受けられます。活用とまではいかず、ただ使っているという様子に危機感を持っていました。障害の重い子どもの支援機器について、杉浦先生がお話してくださったとおりだと思いました。

令和4年度 特別支援教育セミナー【研修B】

「自立活動の評価について」

講師 福岡大学 徳永豊 先生

【講義より】

- * 子どもの障害が重度で重複している場合、表出する行動が限られていたり、状況や相手によって行動のばらつきが大きかったりするため、人によって評価が違ってくことは当たり前。重要なのは、どのようにすり合わせをするのかということ。子どものことを知っている関係者で評価情報を持ち合わせての評価会議が行うことが必要。



グループに分かれて話し合う場面がありました

<参加者の声>

○個々の子どもについて評価基準を達成するために基準を4段階程度で設定していくとのこと。それは、願う子どもの姿にどのように迫っていけばよいのかという具体的な指導内容・方法を設定することと同じであり、そのすり合わせ作業は大変なことかもしれません。今後の実践をとおして「適切な評価の手順」という形になることを期待しています。

困っていること
悩んでいること
ありませんか？

授業中に姿勢がくずれてしま
う。机や椅子は合っている？
何か補助具が必要なのかな？



手に機能障害があるが、作業的な
学習についてはどのような支援が
必要？



肢体不自由がある生徒が
体育の授業にどのように
参加したよいか分からない。
必要な配慮とは？



ぜひ、ご相談ください！

日頃の指導や環境面の配慮等で困っていること、悩んでいることがあれば、あけぼの支援学校にご相談ください。その際は、相談内容が校内委員会をとおしたものであることを事前にご確認ください。よろしくお願いたします。



本校には、理学療法士（PT）と作業療法
士（OT）が勤務しております。

相談内容によっては、専門家を帯同して
の訪問支援が可能です。



障害があっても
スキーを楽しめる！



パイロットが操作して
くれるから安全だよ

「障害をもつ児童生徒への
スキー教室参加助成事業」

県内小・中・高等学校・特別支援学校で学校主催
のスキー教室に参加する身体に障害をもつ児童
生徒対象の事業です。ぜひご活用ください。

【お問い合わせ】

NPO法人 山梨県スキー連盟 教育本部
手塚さんまで TEL:090-9393-5604

〈これまでの相談内容事例〉

- 身体の変形・拘縮予防のために立位ボードに立つ時間を作りたいが、どのように授業に取り入れていけばよいか。また立位ボードに立つときの支援の仕方や注意点について。
- 体育の授業で水泳が始まるが、肢体不自由のある児童の水泳指導について。
- 肢体不自由があるため動きに制限があるが、周りの児童と一緒に授業に参加する方法や配慮点について。

教育相談等について

就学や進学に向けた教育相談、学校見学、授業体験などは、随時、個別に受け入れておりますが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、校内の立ち入りを制限させていただくこともあります。これらを検討している方につきましては、早めに相談いただくことをおすすめします。



特別支援教育セミナーでご講演いただいた徳永豊先生の図書の紹介です。セミナーでも説明がありました「Sスケール」について掲載があります。

『障害の重い子どもの目標設定ガイド』

*Amazon等ネット通販でも購入できます。



山梨県立あけぼの支援学校

〒407-0046

韮崎市旭町上条南割3251-1

TEL : 0551-22-6131

E-mail : shien@akebonoy.kai.ed.jp

URL : <http://www.akebonoy.kai.ed.jp>

(地域支援担当:小松延子 大原嘉代 黒木ゆかり 杉山知佐)

